

みなさんの声が、みなさんの団結が、課題を解決する！

昨年度は夏季休業短縮にともない、猛暑の中、感染防止対策と熱中症対策を行いながらの教育活動でした。今年度は例年の夏季休業期間ですので、心身ともにリフレッシュしてほしいと思っています。

様々な課題を解決していくためには、みなさんの声をもとに教職員組合が文科省や教育委員会に対して、交渉・協議を行っていく必要があります。私たちが望む「安心して楽しく働ける学校」にするために、湘南教組は、とりくみを強化していきます。数は力。各分会には、引き続き組合加入の声かけをお願いします。

秋に行われる衆院選、来年夏の参院選では、私たちの声を反映させるために、推薦議員を国会へ送り出さなければなりません。教員免許更新制廃止、多忙解消、中学校における35人学級の実現、憲法改悪阻止のために、湘南教組が団結してがんばりましょう！

教員免許更新制 廃止へ

文科省は、教員免許更新制について、廃止する方針を固めました。今後、中教審に方針を示し、来年の通常国会に関連法改正案を提出することになります。

教員免許更新制は、教員の資質能力の保証を目的に第一次安倍政権のもとで、2009年度から導入されました。小・中学校や高校などの教員免許の有効期間を10年とし、講習を受けたうえで免許を更新することとし、30時間以上の講習や3万円ほどの受講料が教員の負担となってきました。また、近年では、教員のなり手不足の原因の一つとも考えられてきており、さまざまな観点から課題を指摘してきました。

こうした中、7月、文科省は多忙な教員の負担感の増加や人材確保への影響などを考慮して、教員免許更新制について廃止する方針を固めました。

湘南教組は、これまで教員免許更新制の早期廃止の立場から日教組、神教組に結集してとりくんできました。法改正による教員免許更新制廃止に向けて、引き続き、粘り強くとりくむことが重要です。

公務員定年延長の改正法成立～定年65歳に引き上げ～

定年を65歳に引き上げる「国家公務員法等の一部を改正する法律」が、可決・成立しました。この改正法では、国家公務員の定年を2023年度から2年ごとに1歳ずつ引き上げるとともに、60歳になった職員を原則として管理職から外す「役職定年制」を導入し、60歳以上の給与はそれまでの水準の7割程度にするとしています。

また、国家公務員と同様に、地方公務員の定年を65歳に引き上げるための改正地方公務員法も可決・成立しました。定年引き上げのスケジュールは次の通りです。

【段階的定年引き上げ早見表】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
定年年齢	60歳	60歳	61歳	61歳	62歳	62歳	63歳	63歳	64歳	64歳	65歳	65歳
			退職なし		退職なし		退職なし		退職なし		退職なし	
1961年度生まれ	退職	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳						
		← 暫定再任用 →										
1962年度生まれ	59歳	退職	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳					
		← 暫定再任用 →										
1963年度生まれ	58歳	59歳	60歳	退職	62歳	63歳	64歳	65歳				
		← 暫定再任用 →										
1964年度生まれ	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	退職	63歳	64歳	65歳			
		← 暫定再任用 →										
1965年度生まれ	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	退職	64歳	65歳		
		← 暫定再任用 →										
1966年度生まれ	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	退職	65歳	
		← 暫定再任用 →										
1967年度生まれ	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	退職

役職定年制の導入や、暫定再任用・再任用短時間勤務制度など国段階における改正法の趣旨を、県段階においてどのように制度設計を行っていくかが今後の大きな課題です。また、高齢期の労働環境の改善も、これまで以上にすすめていく必要があります。

今後も日教組、神教組に結集し、学校現場実態にあった制度になるよう意見反映していく必要があります。

文科大臣「教員給与見直しも」

この間、教員の働き方や教員採用試験の倍率低下が問題視されるようになってきました。湘南教組としても、労働環境や賃金の改善を訴え続けてきました。

そんな中、萩生田文科大臣は7月8日、学校の負担が大きくなっていることにふれ、「給与体系なども含めたしくみを考えないといけない。」と述べました。また、勤務時間の増加を受け、「とても過酷な環境で、志望者が減っているのも事実。働き方を変えなければならない。」と語りました。さらに、「先生という職業の魅力を高める環境を作りたい」と強調し、課外活動にとりくむ教員への手当てが必要とする考えも示しました。

萩生田文科大臣の発言から、今後、給特法や教員特殊業務手当の見直しの議論が始まることが想定されます。湘南教組は、引き続き議論の経緯を注視し、現場実態に合った見直しになるよう意見反映していく必要があります。

今後も労働環境改善のため、教職員一人ひとりが声を上げ続けて行きましょう。

湘南教育研究集会（湘南教研）って？

湘南教研とは、授業のネタや指導方法、他の組合員はどんな授業をしているのだろうか？といった、子どもたちにとっての「豊かな学び」につながる教育実践を交流する場です。また、授業だけではなく、行事や教育課程、評価なども含めた組合員による組合員のための“学びの場”でもあります。

それぞれの分科会で教研推進委員を中心に、各教科の実践研究や私たちの教育をとりまく様々な課題について意見交流できる場です。例えば、「日頃、疑問に思っていることがあるんだけど・・・」「授業のすすめ方がわかりません・・・」「コロナ対応で皆さんどうしてるの？」など、素朴な疑問、今さら聞けない（そんなことはありませんが）ことだって、組合員同士なら気軽に聞いて解決できる機会になると思います。みんなで教研を活性化させていきましょう！

今年度の湘南教研は、7月19日（月）に行われる教研推進委員会にて開催方法等を決定していきませんが、現在各分会にレポート作成をお願いしています。全23分科会から選んでいただき、A4用紙1枚程度でも構いませんので、9月の地域協議会までにレポート提出をよろしくお願いします。



組織化情報 めざせ！100%加入！！

6月末時点で、新採用・転任採用者の6割強が加入しましたが、校種別、地区別に比較すると様々な課題が見えてきます。近年、小学校の加入率は安定して8割弱の加入率を維持している一方、中学校では今年度5割を切りました。

あなたの隣にいる人は、組合員ですか？あなたもあなたの隣の人も皆同じ「労働者」です。「労働者」として労働組合に入り、働きやすい職場にしていくこと、教職員が笑顔になれる職場にしていくことが子どもたちの笑顔につながります。あなたの働く学校が笑顔あふれる学校になっていくように、まずは、あなたの身近な人から声をかけてみましょう。

人間ドック受診費用補助の申請を忘れずに！

夏季休業中に人間ドックを受診する方が多くいると思います。振興会ハンドブック（p89）に人間ドック受診費用補助請求書があります。受診後、必要事項を記入の上、各学校にてご提出ください。

なお、申請時には受診した際の領収書も添付します。



沖縄スタディーツアー

沖縄の施設見学や現地の方の話を聞いて平和について学習する『沖縄スタディーツアー』を企画していましたが、今年度も中止とします。参加対象を配慮した形で、次年度、企画していきます。是非ご参加ください。

2022年度 教育予算交渉・要求 スタート！！

湘南教組は、執行部・専門部・各分会が一体となった「教育予算交渉」を重要な運動と位置づけ、積極的なとりくみをすすめています。

2021年度の湘南3市1町の財政状況は厳しい中ですが、分会要求をもとに、引き続きの学校配当予算増額、働き方改革をすすめるための人的配置、施策の実現に向けた交渉・要求をしていきます。

今年度の湘南3市1町教委への交渉日程は次の通りです。

鎌倉市教育施策・予算要求全体交渉	8月4日（水）
藤沢市教育施策・予算要求全体交渉	8月3日（火）
茅ヶ崎市教育施策・予算要求全体交渉	10月8日（金）
寒川町教育施策・予算要求全体交渉	10月～11月

<湘南地区「母と女性教職員の会」～「すすめる会」で協力体制づくり～>

今年度は、湘南地区「母と女性教職員の会」の全体会のみを開催します。

湘南地区「母と女性教職員の会」

日時：11月23日(火祝) 10:00～12:00 全体会

会場：寒川町民センター

講演会：講師 ReBit（リビット）

認定NPO法人であるReBitさんは、LGBTを含めた全ての子どもが、ありのままの自分で大人になれる社会をめざしています。



湘南地区「母と女性教職員の会」の活動の企画や運営、推進するために「すすめる会」を組織しています。

<すすめる会について>

すすめる会は、湘南地区「母と女性教職員の会」を企画・準備・運営していく実行委員会です。母親代表6～12人、教職員代表16～22人、退女教2人、事務局4人で構成されています。

2021年度湘南地区「母と女性教職員の会」すすめる会役員校

<すすめる会2年目> 鎌倉地域：西鎌小、御成小 藤沢地域：鵜沼小、駒寄小
茅ヶ崎寒川地域：円蔵小、赤羽根中

<すすめる会1年目> 鎌倉地域：腰越小、手広中 藤沢地域：片瀬小、湘洋中
茅ヶ崎寒川地域：香川小、円蔵中

※今年度はコロナの影響で母親の参加を見送るため、教職員代表のみご参加ください。
また、2022年度からは執行部役員選出校から母親にも参加していただく予定です。

夏は平和を考える機会に。。。

日本国内では新型コロナウイルスに対するワクチン接種がすすむ一方、ワクチンを打たない人への偏見がおこっている。ワクチンを打っていない人、打ちたくない、または打つことができない人は店舗や施設に来ないでという空気。それが「正義」という風潮もある。自分たちの「正義」のもと分断が起こっている。誰もが「正義」を振りかざした時、行きつく先は戦争しかないのではないだろうか。勝った方は「正しい」とされ、負けた方は「悪」となる。

学校現場を振り返ってみる。

先生が問題行動を起こす子を「この子のためだから」と叱ることが「正義」にはなっていないだろうか。クラスで「良い子」が「悪い子」を注意するのが「正義」になってはいないだろうか。学校の決まりやクラスの決まりだけが「正義」になっていないだろうか。教員はいつも自分自身を見つめ直さなければならない。

何てことはない。「正義」は我々の中にもある。今一度本当に大切なことを考えていかななくてはいけないのではないだろうか。

8月、広島と長崎の原爆投下・終戦の日を迎えるこの時期に、何が本当の平和につながっていくのか考えていきたい。

執行部のつづやき

執行部 2年目となり、今回つづやきの順番がとうとうまわってきた。

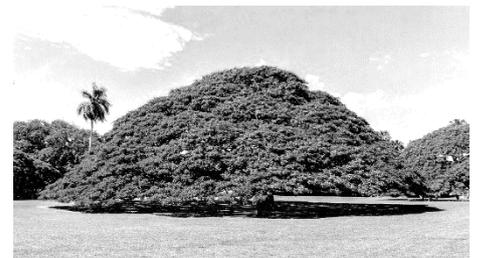
何を書こうかすごく悩む。

執行部 1年目の時、教組ニュースの担当になり、執筆依頼をしていたので、基本執行部 2年目が書くことは分かっていた。事前から準備して計画的にやればこんな状態にならないだろう。執行部も忙しい時期とゆとりをもってできる時期がある。執行業務も学校業務と同じで、やることなくならないが。。。ゆとりのある時になぜやらなかったのか。いつも、後の祭りである。

つくづく思うに、追い込まなければやらない性格なのだろう。

執行部に出る前の担任の時も、長期休みに準備しておけばいいのにもかかわらず、しっかり休んで結局何もやらずに休みがあげ、慌ただしい日々を過ごしていた。計画的にやればもっとゆとりのある時間を作れたのだろうか。私はゆとりのある時間が作れるとは思わない。ゆとりがあったとしても、結局仕事のスピードがゆっくりになるだけで、やっていることは変わらない。もちろん計画的にやることは大切だと思うが、追い込まれるとやるしかないなので、集中して早くできる。休むときは休む。結局、このやり方が自分に合っているのだと思う。

とりかかりは遅くとも、期限を遅れることがないように気をつけている。自分が困るのは自分の所為なので、しかたがないと思う。しかし、期限が遅れると他の人が困り、迷惑をかけてしまう、だから、期限だけは意識している。期限があるものは、他の人がそこから何かを始めることである。子どもたちにも、期限が守れる子になってほしいと常に思って指導してきた。子どももゆっくり着実にやる子、素早くやる子さまざまである。結局は、間に合えばいいという結論である。何を書こうか悩んだまんま、つづやいた。



湘南教組 当面の活動予定

日 程	予 定	開始時刻	場 所	対 象
7月19日(月)	教研推進委員会	16:00	湘南教育会館	教研推進 委員
7月31日(土)	採用試験対策講座	9:30	湘南教育会館	希望者
8月 3日(火)	藤沢市予算要求全体交渉	9:00	藤沢市役所	執行部・ 各専門部
8月 4日(水)	鎌倉市予算要求全体交渉	9:30	きらら鎌倉	執行部・ 各専門部
9月 9日(木)	鎌倉地域協議会	16:30	鎌倉芸術館	分会長
9月14日(火)	藤沢地域協議会	16:15	湘南教育会館	分会長
9月16日(木)	茅ヶ崎・寒川地域協議会	16:30	湘南教育会館	分会長

湘南教組の情報をより速くうけとりたい方は、こちらからメルマガのご登録をお願いします。コロナ禍の服務に関わること、学習会の開催情報、その他にも組合員のためになる情報を定期的に発信しています！

